



# MBT NEWS LETTER

第303号  
'24/09/24

## 奈良医大：中村修平教授（オートファジー・抗老化研究センター長）が 代表の研究テーマが 令和6年度「革新的先端研究開発支援事業（AMED-CREST）」に採択



奈良医大生化学講座  
中村修平教授

- 9月17日、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）はAMED令和6年度「革新的先端研究開発支援事業（AMED-CREST）」の採択テーマを発表しました。
- AMED-CRESTとは、画期的シーズの創出に向けて、研究開発代表者を筆頭とするユニット（研究者集団）が国際的に高い水準の成果を目指すテーマを補助金3億円で支援するものです。
- その発表において「ストレスへの応答と疾病発症に至るメカニズムの解明」研究開発領域で、奈良医大の中村修平教授を研究代表者とする『リソソームストレス応答の破綻による神経・筋疾患発症機序の解明と超早期バイオマーカー開発』テーマの採択が発表されました。本採択は、申請51件中の中から4件採択された1件です（下記表を参照）。
- MBTコンソーシアムでは、本年4月16日（火）の“オートファジー・抗老化研究センター設立記念シンポジウム”の開催を支援し、加えて中村修平教授との抗老化共同研究を実施希望する企業マッチング等を支援しています。

**◆採択されたテーマの研究概要**

アルツハイマー病、パーキンソン病などの神経・筋疾患の多くでは超早期から細胞内分解オルガネラ、リソソームの機能不全が認められます。

本研究課題では、この背後にあると考えられる、リソソームへの種々のストレスに対するレジリエンス機構「リソソームストレス応答」の破綻の分子機構と、神経・筋疾患における病的意義を明らかにします。さらに本応答の破綻を捉えるバイオマーカーを開発し、神経・筋疾患の超早期診断の実現を目指します。

### ■ ユニットタイプ（AMED-CREST）

研究開発課題名	研究開発代表者	所属機関	役職
皮膚における生活環境ストレスマーカーの探索とアトピー性皮膚炎の層別化医療への展開	梶島 健治	京都大学	教授
疾病発症につながる代謝ストレス及び社会的ストレスに抗する運動模倣性メカニカルストレスの作用機序解明に基づく病因・病態の理解	澤田 泰宏	国立障害者リハビリテーションセンター	臨床研究開発部長
リソソームストレス応答の破綻による神経・筋疾患発症機序の解明と超早期バイオマーカー開発	中村 修平	奈良県立医科大学	教授
肺胞幹細胞ストレスに起因する特発性肺線維症の早期分子経路の解明と治療薬の創製	森本 充	理化学研究所	チームリーダー

発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、（公立大学法人）奈良県立医科大学  
 奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山  
 TEL：0744-29-8853（直通）、FAX：050-3164-5598、Email：mbt@mbt.or.jp